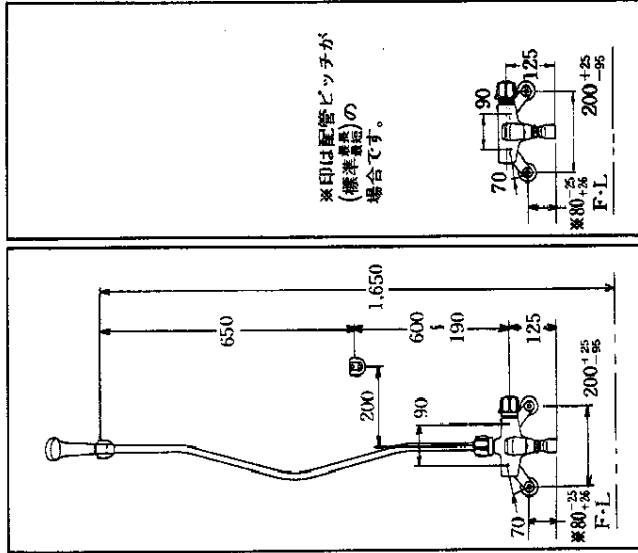


“自閉式”サーモスタットシャワーバス金具・混合栓取付説明書

完成図

一般用 (TM745C) (TM745A)

日本水道協会型 (TM745CH) (TM745CMH)



使用条件

1. 使用水圧
 - (1)ガス瞬間湯沸器と組合せる場合
 - 最低必要水圧……………(表参照)
 - 給水圧力———最高水圧……………6.0kg/cm²

器具入口部における最低必要水圧 (kg f/cm ²)		普通シャワー	マッサージ
従来タイプ	12号	A + 1.2	A + 1.5
TOYO カスタム	16号	0.8	0.9
	20号	0.9	0.9
	16号	0.8	0.8
	20号	0.8	0.9
TOYO トリコン	24号	0.7	0.7
	アクティ-31	0.7	0.7
TOYO コマンド	32号	0.6	0.7
	16号	0.7	0.7
	24号	0.7	0.7

以上は下記条件を想定して求めた水圧です。

- シャワーハンドルは全開 ●夏季水温 25℃
 - 湯沸器温度調節は「高温」に設定
 - シャワー吐水温度 42℃ ●給湯配管長 5m
- (2)石油瞬間湯沸器及び貯湯式温水器と組合せる場合

- 給水・給湯圧力 { 最低必要圧力…0.5kg/cm² 最高圧力…6.0kg/cm²
- 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
 - 給水圧力が6.0kg/cm²を越える場合は、市販の減圧弁で2.0kg/cm²程度に減圧してください。
2. 給湯温度は使用する温度より10℃以上高くしてください。

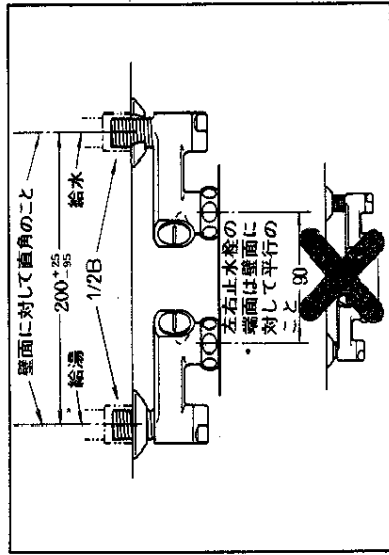
3. 給湯に蒸気を使用しないでください。

4. 湯・水を逆配管しないでください。
なお給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管してください。配管後は必ず保温材を巻いてください。

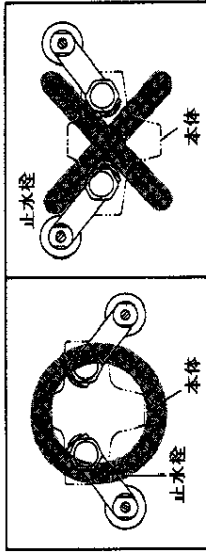
器具の取付け

1. 給水管内の清掃
器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

2. 止水栓の取付け



※止水栓の取付位置が本体よりも上になるとストレーナの着脱ができませんので必ず下になるように取付けてください。



3. シャワーホースの取付け (シャワースタンドの場合)
 - 本体を止水栓に接続する前にシャワーホースを本体に取付けてください。

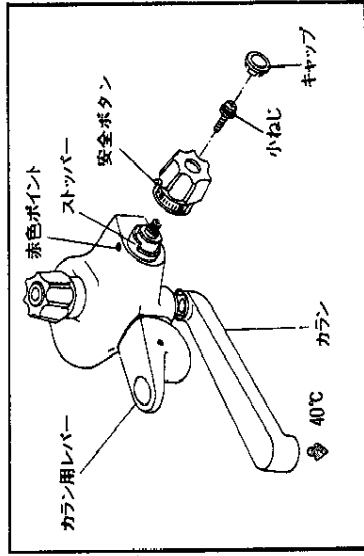
温度調節

工場で温度調節をしていますが取付現場の圧力状況などによって、ダイヤル通りの吐水温度にならない場合があります。その場合は次の要領で調節してください。

- 調節する前に次のことを確かめてください。
(a)止水栓は全開になっているか。
(b)ストレーナのごみづまりはないか。
(c)十分な温度の湯がきているか。

● 調節要領

- (1) カランより吐水させて温度調節ハンドルの目盛に關係なく40℃の湯が出る位置まで温度調節ハンドルを回す。なお、高温側へ回すときは安全ボタンを押してください。
- (2) その位置で温度調節ハンドルが回らないように注意してキャップ、小ねじを外しハンドルを抜きとる。なお、ストップが外れたときは分解と点検の項に示す位置に正しくはめてください。



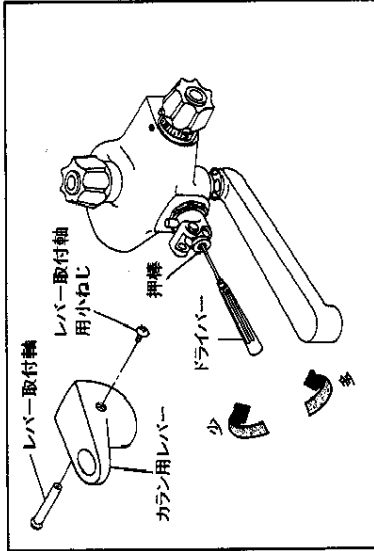
- (3) 温度調節ハンドルの“40”の文字をはめ、小ねじで固定しキャップをはめる。

吐水量の調節

吐水量調節ねじを内蔵していますので、次の要領で適度な吐水量に調節してください。

- 1) レバー取付軸をドライバで固定しレバー取付軸用小ねじをドライバでゆるめてカラン用レバーを外す。
- 2) 吐水量調節ねじをドライバで回転させて適当に調節する。
右回転……多くなる。
左回転……少なくなる。

- 3) 押棒を押して吐水量を確かめる。



- 4) 調節が終わったらカラン用レバーを取付け、レバー取付軸をドライバで固定しレバー取付軸用小ねじがゆるまないよう十分に締付けてください。

ストレーナの掃除

ストレーナがつまると吐水量が少なくなったり水又は熱湯しか出なくなると十分な機能が発揮されなくなります。器具取付後は、必ずストレーナを掃除してください。

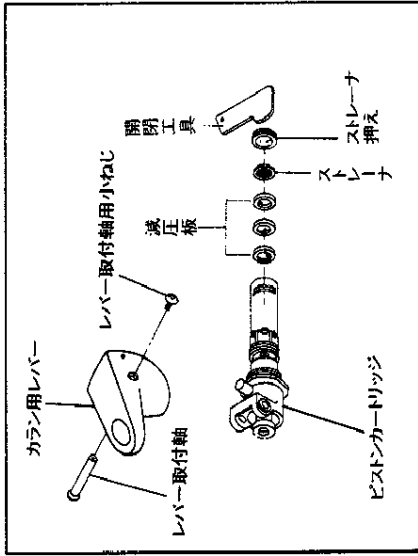
また、お客様にもときどき掃除していただくようにご指導ください。

自閉弁の掃除

自閉弁のストレーナ及び減圧板がつまると水の出しが悪くなったり、流れ放しになるなど十分な機能が発揮されなくなります。器具取付け後は、必ず掃除してください。

- また、お客様にもときどき掃除していただくようにご指導ください。
- 1) 止水栓を閉じる。
 - 2) レバー取付軸をドライバで固定しレバー取付軸用小ねじをドライバでゆるめてカラン用レバーを外す。

- 3) ピストンカートリッジをスパナでゆるめて取出す。
- 4) ストレーナ押えを付属の開閉工具でゆるめて取出す。
- 5) ストレーナを取り出し網目につまったごみをブラシなどで掃除し十分水洗いする。
- 6) 減圧板を取り出し裁縫針などの針先で小穴について掃除する。



注：減圧板は3枚使用しています。組立の際は必ず3枚とも組込んでください。

(小穴の方向性はありません)

注：組立の際はストレーナ押え・ピストンカートリッジ及びレバー取付軸用小ねじがゆるまるまじよう十分に締付けてください。

注：付属の開閉工具は必ずお客様にお渡しください。

お手入れ

めっきされた器具がいつまでも美しさを保つようには、お客様にお手入れ方法をご指導ください。

1. 常に柔らかな布でみがき、ときにはミネン油やカーワックスなどをしませた布でふくこと。
2. クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないこと。
3. 酸性洗剤はめっきを侵しますので、使用しないこと。もし、タイルを酸性洗剤で洗った場合はすぐにタイル及び器具を十分に水洗いすること。

分解と点検

故障とその点検項目	
故障	点検項目
シャワの吐水量が少ない	1. 2
カランの吐水量が少ない	1. 2. 6. 10
カランの吐水量が多い	7. 8. 10
カランの吐水時間が長い	7. 8. 10
カランの止水不良	7. 8. 9
高温しか出ない	1. 2. 3. 4. 5
低温しか出ない	1. 2. 3. 5
ダイヤル通りのお湯が出ない	1. 2. 3. 4. 5
カラ管用レバーがガタつく	11

